

# ベートーヴェンに恋して

最終回

ピアノリスト北海道教育  
大学岩見沢校准教授

## 深井 尚子

1年間にわたって、ベートーヴェンについてお話ししてきましたが、今が最終回となりまして。最終回は、ベートーヴェンとゲーテについてのエピソードで締めくくりたいと思います。ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテは1749年生まれ、1832年に没した。当時としては大変長生きをしたドイツの文豪として知られています。また、77歳の時に17歳の少女と求婚したエピソードは有名です。ベートーヴェンは、1770年生まれ、1827年に没していますので、この二人は、同時代に生きていたことになります。

ベートーヴェンは、ゲーテの詩に作曲をして、ゲーテに献呈しており、ゲーテの文学に深い尊敬の念をもっていました。ゲーテは、文学のみならず、さまざまな分野に精通したスーパーマンで、自然科学者でもあり、岩石の研究、色彩の研究などの論文がありますし、絵画の才能もありいくつかの絵も残されています。また、ゲーテは、ワイマールでは宮廷顧問という政治家でもあり、社交術に長け、幅広い人脈とのつきあひのあった人物でした。

1812年に貴族たちの避暑地であったテールリッツで、ベッティナ・フレンターノという貴族の令嬢の計らいでゲーテとベートーヴェンは、初めて出会います。この出会いで二人の性格的な違いがはつきりと浮かび上がるエピソードは特に有名です。それは、二人が並んで散歩をしていた時、向かいから高貴な人物がやってくる時、ゲーテは、膝まづいて

帽子を脱いで頭を下げ、通り過ぎるのを恭しく待ったのに対して、ベートーヴェンは、「脱帽するのに向こうのほうですよ。」と言って、手を振ったといわれています。ベートーヴェンの言った通り、高貴な人物は、「やあ、ベートーヴェンさん。」と言って、帽子を取って挨拶したといわれています。このエピソードから、ゲーテとベートーヴェンの性格の違いがはつきりわかりますね。ゲーテは、ベートーヴェンが野蠻で礼儀知らずと感じたようですが、ベートーヴェンは、特にゲーテに失望したとは言われていません。しかし、この出会いによって二人の友情が深まったということはなく、やはり分かれ合ったということになったようです。

ゲーテは、音楽に造詣が深いとは言えず、秘書の意見のまま、ベートーヴェンの音楽を評価していたようです。当時のベートーヴェンは、大変著名な作曲家となっていました。今までの古典派の枠を超えた斬新な音楽を生み出していました。ゲーテは、その斬新さを理解するほどは、音楽的な素養がなかったといわれています。

ベートーヴェンは、性格や価値観が自分と違っても、ゲーテの作品を高く評価していました。私は、ベートーヴェンのこの公平さにも恋しているのかもしれません。

## 中空知の郷土文芸

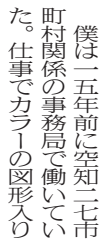
### 赤平川柳社

その昔小旗を持つて兄送る 高橋 幸子  
底値まで下げて売り手も顔真赤 杉山 武志

だが受け取った方は黒一色で判読できない。カラープリントをして郵送もした。膨大な経費と時間を要したのである。間もなく全市町村とメールができるようになった。資料を添付して送るメールという間に届く。連絡もメールを主にした。お互いに相手が不在でも用件は伝わる。メール機能をもつた時代も働き方は変わる。テレワークの形も方法も広がってきた。独立して専門性の高い契約で、複数の事業所と取引する。「雇わす、雇われず」の第二の働き方とも言われている。

## 離れて、働く

堀 利幸



で二〇頁以上の資料を作るが、出来上がるまで双方で大変な手間だった。急ぐときはファックス

使っただけで、その出来栄と能率は計り知れず、仕事の仕方は別世界になった。七年後に毎日勤務を辞めた僕は、会社を立てあげて本を作った。原稿はメールで寄せてもらう。全員ではながく遠くは埼玉や東京から挑戦が続く。職場もまた働き方を変えていく。そんな季節でもある。

## 雑記帖

定期健診の日、二時間も待ったがなかなか健診が受けられない。担当の循環器の先生に二人も急患が入ってしまったのである。何しろ心臓だから仕方がない。そのうちに従弟を千歳まで迎えに行くギリギリの時間になってしまった。ニューヨークから滝川まで夫婦で遊びにきたのである。しょうがないので健診を別の日に延ばしてもらって千歳に向かった。途中、ついでから大麻の道立図書館に寄つてある私版本を借りた。

## 仏滅の日

空知管内在住作家 不破 俊輔

「著述業」。なにがしかの金を稼いでいるので、私は一応著述業と答えることにしている。六時頃にはあった。高速の奈井江砂川インターチェンジを降りた時に、暗闇からバトカーが現れてきて、私の車を停めた。何も違反はしていないはずだ。おかしいな、と思いながら、バトカーに連れ込まれる。なんとインターから普通道路に出るまでに一時停止を

1年間、お読みいただき、ありがたうございました。来月から、新しいテーマで連載が始まります。どうぞお楽しみに。

「著述業」。なにがしかの金を稼いでいるので、私は一応著述業と答えることにしている。六時頃にはあった。高速の奈井江砂川インターチェンジを降りた時に、暗闇からバトカーが現れてきて、私の車を停めた。何も違反はしていないはずだ。おかしいな、と思いながら、バトカーに連れ込まれる。なんとインターから普通道路に出るまでに一時停止を

「著述業」。なにがしかの金を稼いでいるので、私は一応著述業と答えることにしている。六時頃にはあった。高速の奈井江砂川インターチェンジを降りた時に、暗闇からバトカーが現れてきて、私の車を停めた。何も違反はしていないはずだ。おかしいな、と思いながら、バトカーに連れ込まれる。なんとインターから普通道路に出るまでに一時停止を

「著述業」。なにがしかの金を稼いでいるので、私は一応著述業と答えることにしている。六時頃にはあった。高速の奈井江砂川インターチェンジを降りた時に、暗闇からバトカーが現れてきて、私の車を停めた。何も違反はしていないはずだ。おかしいな、と思いながら、バトカーに連れ込まれる。なんとインターから普通道路に出るまでに一時停止を

「著述業」。なにがしかの金を稼いでいるので、私は一応著述業と答えることにしている。六時頃にはあった。高速の奈井江砂川インターチェンジを降りた時に、暗闇からバトカーが現れてきて、私の車を停めた。何も違反はしていないはずだ。おかしいな、と思いながら、バトカーに連れ込まれる。なんとインターから普通道路に出るまでに一時停止を

## アイヌ語

## よもやま話

■53■

### 仕掛け弓と狩小屋

人間は動物の動きの速さにはついていけない。アイヌの人たちは山の中や川、湖沼で仕掛け弓を仕込んで、狩小屋で獲物を来るのを待ちます。沼などではヨシ

## 明治初期禁じられたアマツポ

岩見沢市在住

山下 栄光



鷺鉤獵＝丸太に鮭をくくりつけて川に渡す。鮭を食べに鷺が丸太に止まると先端に鉤がついている棒で捕獲する

イ(屈狩)、クマオイ(久屋内、鴻の舞、クオナイ(久保内、雲内、幸内、倉沼)、クオマナイ(隅)などの地名があります。「カシ」は狩小屋で、一時の間に合わせ小屋のことです。むしろ作つたトマカシや片屋根のアルカシなどの狩小屋があります。地名では、カシウナイ(花巻、オカシナイ(可笑内)、オカシベツ(岡志別)、オカシウベ(岡春郎)。「クチャ」は狩の際、獲物を入れる仮小屋のこと、クチャナはカムシロで作

咲き誇る花のすき間に姫路城化粧直してひとときおぼろる。井下 隼子  
寒もどりバイオリズムも乱高下それでも春はそこまで来る。玄地 祐文  
鉢植えの花に水やクシリンひと足先に春を告げる。斎藤 陽子  
里からの絵手紙とてなつかしい河津(かわづ)桜の花が描かれ。曾根 郁代  
久々に明治と文字を書く我はしみじみ思ふ明治生れを。鈴木 千代  
年ごとに雪積計る四月入り今年も早めゆるる春細

## 浦白短歌会

内山 清子  
杉浦 裕子  
桐子  
立子

## 滝川俳句会

五月

## 雨竜俳句会

大山アヤ子  
大森 幸一  
宮武めぐみ  
吉見サヨ子  
鳥帰る終の住みかは持たぬまま

雨竜俳句会



小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました。

作者の実話を元にしています。白痴病で余命が短いとわかった母は、幼い息子がこの先たかましく生きていけるようにと、優しい母から鬼のような母に変わります。貧乏だったために市場で売れないナスビをたった一人で見つかり、小学生に行かれました。小学生にしてお金がせめてこの大変さとお金がかかると知った少年のあるこの絵本は、約30年前のは、後出版社の社長になりました。

作者の実話を元にしています。白痴病で余命が短いとわかった母は、幼い息子がこの先たかましく生きていけるようにと、優しい母から鬼のような母に変わります。貧乏だったために市場で売れないナスビをたった一人で見つかり、小学生に行かれました。小学生にしてお金がせめてこの大変さとお金がかかると知った少年のあるこの絵本は、約30年前のは、後出版社の社長になりました。

商店の新・改装、新商品 新企画、イベントや行事 サークルの発表会など

無料で100%掲載します 気軽に情報、話題をお寄せください

# 直ちに記者が飛んでいきます

株式会社 空知新聞社岩見沢支社 岩見沢市9条東1丁目 TEL.0126-22-3700 FAX.0126-22-8367